資料３

Ａ校　校内支援体制活性化への取組の経過

	生活指導委員会	コーディネーター	学級担任
6月 7月	**6月生活指導委員会** ・組織と活動についての提案。 大きな変革はせず、現組織を活用し、Ａ校スタイルの校内支援を試行していくことを確認。	・Ａ校の現状と課題の分析	＊学級の気になる児童の調査・担任の意識調査実施
8月	校内研修全体会（　Ａ校の現状と課題・特別支援教育について・気になる子の理解と支援　）		
9月	**9月生活指導委員会** ・チェックリストの結果を分析検討し、対象児を絞り込んだ。 ・担任とコーディネーターと筆者等でチームを組み支援策を検討すること（個別の指導計画作成）を確認。	・担任との打ち合わせ ・対象児の観察 **支援チーム会議①**（担任＋コーディネーター＋筆者） ・児童の様子を検討し、これからの指導や支援内容、方法を検討。個別の指導計画案の作成。 ・個別の検査の実施。	＊チェックリスト実施（特に気になる児童について実施）
10月	**10月生活指導委員会** ・チームでの話合いの結果を報告、支援の計画（個別の指導計画）を検討。共通理解。	**支援チーム会議②**（担任＋保護者＋筆者） ・児童の様子を保護者と共通理解。これからの指導や支援内容、方法を保護者と検討。	
11月	**11月生活指導委員会** ・個別の指導を開始した児童についての経過を報告・検討。今までの支援や手だてについての振り返りをすることを確認（個別の指導計画）	・支援者や場所の検討 ・支援者との連絡調整 **支援チーム会議③**（担任＋支援者＋コーディネーター＋筆者） ・児童への個別の支援内容や方法の共通理解。教材・教具の検討。（個別の指導計画Ⅱ）	
12～2月	**12～2月生活指導委員会** ・指導や支援の報告・検討。必要に応じて再調整（個別の指導計画）	**支援チーム会議④～**（担任＋支援者） ・支援の実施、情報交換、支援の評価。 ・再調整。	
3月	**3月生活指導委員会** ・今年度の校内支援についての評価、来年度の方向についての検討	・年間の支援のまとめ 来年度の方向提案	＊支援のまとめ ・引き継ぎ事項整理

＊９月より随時「特別支援教育だより」を全職員に配布。
内容は、校内委員会の話合い、特別支援教育、障害やその特性、教室での支援等。